

地域とのコミュニケーションで “ふるさと島根”の想いに答える



道の駅を拠点とした地域活性化の取組み促進

- ・ 国道54号沿線「道の駅」の連携施策(サイクリングロード整備)
- ・ 道の駅の防災拠点化



道の駅を拠点とした自動運転サービス実証実験

- ・ 高齢化が進む中山間地域の移動手段の確保、地域活性化を目的とした自動運転サービスの本格実施に向けた取組



観光地の多様な移動手段の実現 (スローモビリティ実証実験)

- ・ 石見銀山(環境省)、出雲大社(国交省)での実証実験
- ・ 出雲大社での観光渋滞対策の検討

島根県内の道の駅:29カ所

(R4.1現在)

浜田市	
②②	ゆうひパーク浜田
②③	ゆうひパーク三隅
益田市	
②④	サンエイト美都
②⑤	匹見峡
津和野町	
②⑥	シルクウェイにちはら
②⑦	津和野温泉なごみの里
吉賀町	
②⑧	かきのきむら
②⑨	むいかいち温泉

大田市	
①⑥	ロード銀山
①⑦	ごいせ仁摩
美郷町	
①⑧	グリーンロード大和
江津市	
①⑨	サンピコごうつ
川本町	
②⑩	インフォメーションセンターかわもと
邑南町	
②⑪	瑞穂

出雲市	
⑦	湯の川
⑧	大社ご縁広場
⑨	キララ多伎
雲南市	
⑩	さくらの里きすき
⑪	おろちの里
⑫	掛合の里
⑬	たたらば壱番地
飯南町	
⑭	頓原
⑮	赤来高原

松江市	
①	本庄
②	秋鹿なぎさ公園
安来市	
③	あらエッサ
④	広瀬・富田城
奥出雲町	
⑤	酒蔵奥出雲交流館
⑥	奥出雲おろちループ



「道の駅」の戦略的な連携・活用による中山間地域の活性化

- 尾道松江線の開通による国道54号の交通量減少に伴い、道の駅の売上が低下。沿線地域の衰退が懸念される。
- 4つの道の駅の連携により、沿線地域一帯で共同イベントを実施し、交流を促進。観光者のみならず、「地域の人が集まる道の駅」への再生を目指す。



■ 地域を磨き、地域の価値を高める ■

着眼点

「連携」と「個性化」の増進

歩く・自転車などの人を重視

地域資源・歴史街道の活用

関係機関と連携

連携イベント：サイクリング等



二輪専用の駐車場整備



自動運転実証実験：赤来高原



歴史街道の活用



災害対応のローリングストック協定：赤来高原



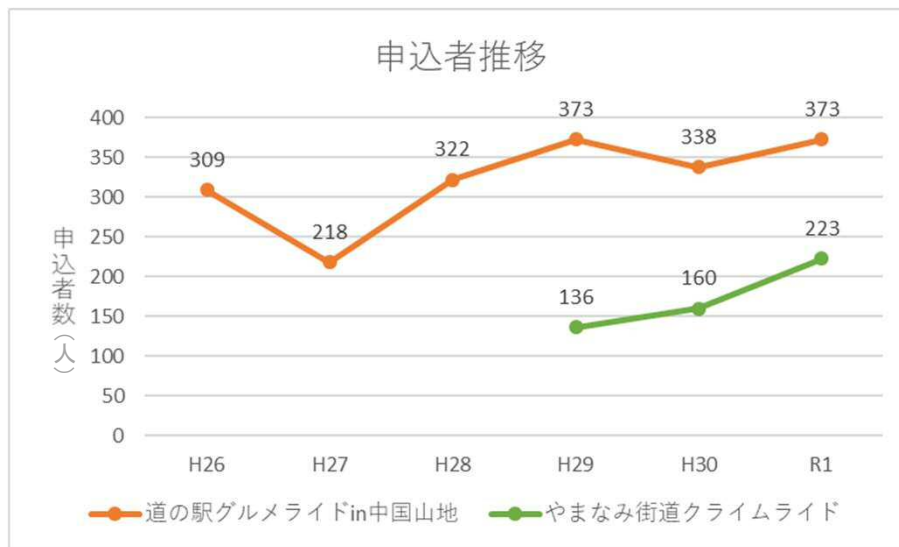
長期保存食を被災者に提供



道路情報を提供

[参考]国道54号を活用したサイクリングイベント

- 地域活性化を目的としたサイクリングイベントが実施されている。
- グルメライド、クライムライド等のイベントは毎年開催しており年々申込者は増加傾向にある。



第2回クライムライド(H30.8.19)



第3回クライムライド(R元.8.18)



第3回グルメライド(H28.9.25)



第4回グルメライド(H29.9.23)



第6回グルメライド(R1.9.21)

国土を整え、全力で備える
国土交通省中国地方整備局
松江国道事務所
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and
Tourism Chugoku Regional Development Bureau
Matsue National Highway office

- 中国地方初

○ルート上には路面標示を設置し、地域の協力を得て、自動運転車両が円滑に走行できるように周知。

 国土を**整**え、全力で**備**える
国土交通省
松江国道事務所

- ## ■山陰道沿線の道の駅



山陰道沿線の地域活性化(デザインマンホール)

○山陰道沿線の道の駅、観光スポットにある電気のマンホールをデザイン化し、周遊を促します！

【山陰道沿線活性化協議会】による企画により、山陰道沿線の絶景をマンホールにしてみました。

1 道の駅 キララ多伎



2 仁摩サンドミュージアム



3 道の駅 サンピコごうつ



4 道の駅 ゆうひパーク三隅



5 萩・石見空港



【地域】国道54号沿線の地域活性化(デザインマンホール)

- 国道54号沿線の道の駅にある電気のマンホール(3つ)をデザイン化します！
- 山陰道沿線デザインマンホール(参考資料参照)と連携し、国道54号を利用した周遊を促進します！

1 道の駅 掛合の里



2 道の駅 頓原



3 道の駅 赤来高原



観光地の多様な移動手段の実現

石見銀山GSM

環境省：IoT技術等を活用したグリースローモビリティの効果的導入実証事業

龍源寺間歩まで片道500円！

石見銀山大森町 ぎんざんカート 運行中

Iwamiginzan Silver Mine Omori-Cho
Ginzan Cart



出雲大社周辺道路(シェアド・スペース等)における低速モビリティ導入による道路空間の魅力向上及び安全性検証の社会実験

国土交通省：道路に関する新たな取り組みの現地実証実験(社会実験)

2021年度に実施した社会実験のイメージ

- ① グリースローモビリティ乗合交通実験 (無償)
 - 【運行区域】 出雲大社周辺の1.5km四方のエリア
 - 【使用車両】 ゴルフカート型電動小型低速車
 - 【運行方法】 定時定路線 (平日は住民向け、土日祝は観光客向け)
 - 【実施期間】 11月12～11月21日
 - 【運行方法】 定時路線 (金土日月は観光客、火水木は地域住民を対象とする)

